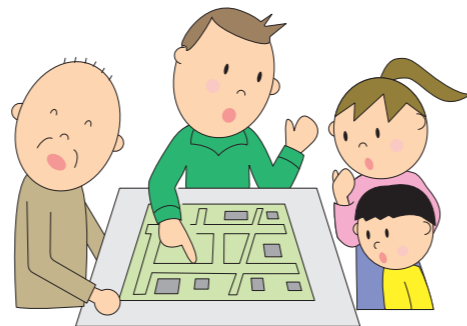


## 3. 家族での備え

災害はいつどこで起こるか予想しがたいものです。いざというときの家族の行動、避難所や避難方法、連絡方法などを日頃から家族でよく話し合っておきましょう。その際、非常持ち出し品の点検も全員で行っておきましょう。

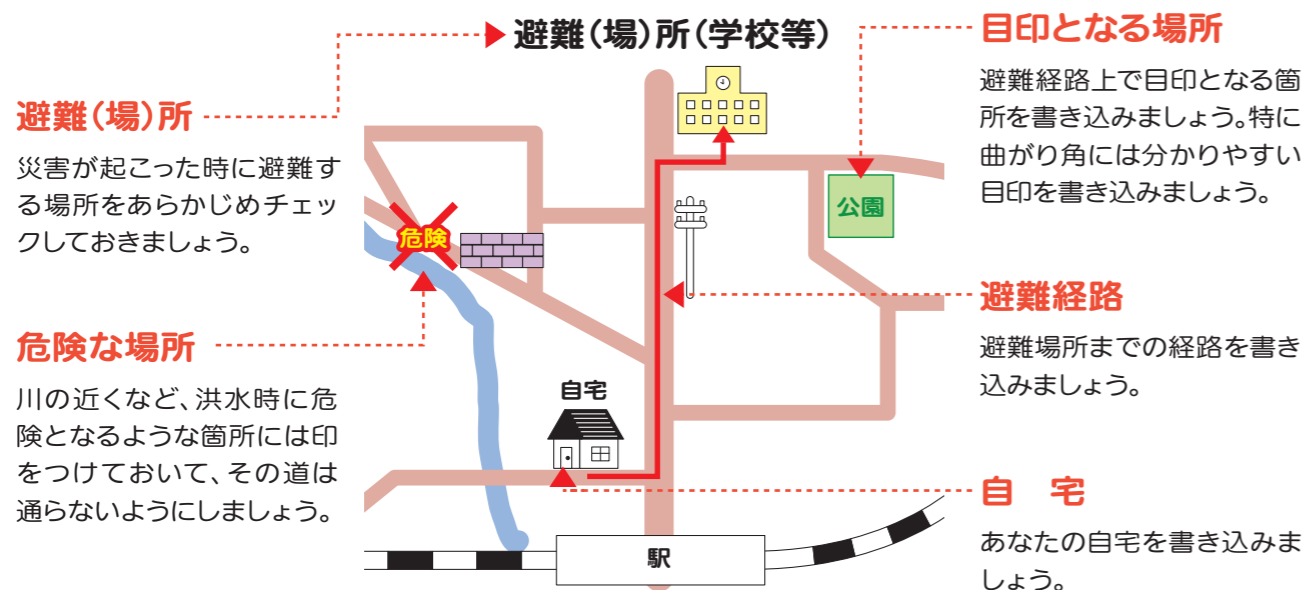
### 3-1 家族で話し合っておきたいこと

- 1 家の中ではどこが一番安全か
- 2 救急医薬品や消火器などを備えているか
- 3 幼児や老人の面倒はだれがみるのか
- 4 避難路、避難場所、避難所はどこにあるのか
- 5 避難するとき、だれが何をもち出すのか、非常持ち出し袋はどこに置くのか
- 6 家族間の連絡方法と最終的に出会う場所はどこにするのか
- 7 昼の場合と夜の場合の分担は、はっきり決まっているか
- 8 地域の防災活動(自主防災組織等)に参加しているか



### 3-2 オリジナルマップの作成

家族で話し合ったことなどもふまえ、自宅から避難(場)所までの経路や危ない場所などを記載したオリジナルマップを作成し、家族で共有しておきましょう。



## 4. 地域での備え(自主防災組織)

大地震などにより大規模災害が発生すると、火災の同時多発や建物崩壊、道路の寸断、水道管の破損や津波による被害などで防災機関が十分に機能しなくなる可能性が考えられます。こうした事態では、個人や家族だけの力では各地域の被災者、負傷者を助けることは非常に困難となるため、近隣住民、地域ぐるみで一致協力して防災活動を行うことが重要です。

「自分たちの町は自分たちで守る」という基本的な考えにたって、家族や隣近所がお互いに協力し、地域が一体となって防災活動を行うのが自主防災組織です。

### 4-1 自主防災組織の活動

自主防災組織の活動には、災害に備えて被害の発生や拡大を未然に防止するため、日常的に行う活動(平常時の活動)と、災害が発生した後に地域内で被害の発生や拡大を防止するために行う活動(災害時の活動)があります。

#### 1. 平常時の活動

##### 防災意識の普及

講習会や訓練を通して防災についての正しい知識を身につけましょう。

##### 地域内の防災環境の確認

災害時に備えて、避難路や避難場所の把握、被害が発生しそうな箇所の確認を行いましょう。

##### 地域でのコミュニケーション

地域ぐるみでの交流を深めましょう。また、高齢者や障がい者、妊産婦、乳幼児など、災害時に支援が必要な方の把握を行いましょう。

##### 防災資機材の点検・整備

消火活動、救出・救護、応急手当などに必要な防災資機材を点検・整備しましょう。

##### 防災訓練の実施

日頃から災害に備えて訓練を行い、防災活動に必要な知識・技術を習得しましょう。

#### 2. 災害発生時の活動

##### 情報収集伝達

災害に関する情報を収集し、市民のみなさんへ正しい情報を伝達します。

##### 火災の消火

消火器などによる消火活動を行います。

##### 避難誘導

市民の安否確認や避難誘導、避難所の開設などを行います。

##### 救出・救護

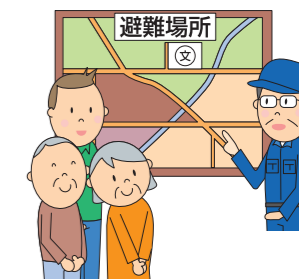
被災者の救出・救護を行います。また、高齢者や障がい者などへの支援を行います。

##### 給食・給水

食料品や救護物資などを分配します。また、必要に応じて炊き出しや給水活動を行います。

### 4-2 防災講習会、防災訓練の実施

災害が発生した時、私たちの体は思うように動かないものです。いざという時に落ち着いて的確に行動できるよう、日頃から講習会や防災訓練に参加し、防災に関する知識・技術を覚えましょう。



### 4-3 市主催の防災訓練への参加

市では毎年市内各地で防災訓練を実施しています。防災活動に関する知識や技術を学ぶよい機会です。ぜひ参加しましょう。

なお、防災に関する資料や講習会の講師派遣、訓練の方法などについて、ご要望、ご相談がある場合は日南市役所危機管理課(Tel.31-1125)もしくは日南市消防本部(Tel.23-1316)まで連絡してください。

